



明峰

令和8年10月7日

第15号

校長 岡野利男

※犬塚さんからの贈り物
今回は、
紅アオイ、ひまわり
クジャク草 です。
いつもありがとう
ございます。



明峰校区の魅力を探る その④ 長崎街道 I



写真Aは、明峰中学校から北西方面（歩いて10分）にある山道の入口部です。この道を奥に進み、左に曲がると、細くて・傾斜が急な山道につながります。

写真中、注目してほしいのは楕円部の石柱。右下にその拡大写真を載せています。

そう、学校だより第15号と次の第16号は「長崎街道」特集です。長崎街道は小倉と長崎を結ぶ約220kmの脇街道。江戸時代の鎖国下、オランダや中国との交易地であった長崎につながる重要な道でした。その長崎街道は我が明峰中の校区の中を気持ちよく走っています!!まずは、その様子を追っていきましょう。

【長崎街道が入り込む地点は「永昌町」】

下写真Bは、小船越町と永昌町の町境付近です。左端の「KFC」、右側の「せんたく広場」それぞれの建物分かりますか？（小さくてごめんなさい。）



実は、せんたく広場より少し右側に右写真の「旧長崎街道」の石柱があります。まさに、ここが【長崎を出発した道が明峰中校区に入り込む地点】です。ゆるい坂をてくてく歩いていくと、やがて、「ながさき看護センター」にたどり着



きます。ながさき看護センターの付近には、右の標識が立っていますよ。今度、注意して見てみてくださいね。

そこから御館山小方面へ歩いていくと、下の写真Cの場所に。



左写真の楕円部を拡大し



たのが右写真。「旧長崎街道 岩茶屋跡」と書かれた石柱ですが、その名の通りここには、茶屋がありました。なんでも“ところてん”が名物だったとか…。さらに、石柱の左の亀甲紋の石に腰かけて一休みしたと言われるのが、あの勝海舟さん。すごい。

街道は、さらに御館山小方面へと延びます。写真

Dは、御館山小学校と鎮西学院とが隣接する場所です。赤楕円部に石柱があることが分かります。御館山小や鎮西学院を左に見ながら明峰中



面へと進むと、国道34号との交差点に。（写真E）写真には写っていませんが、このすぐ右側には明峰中の校舎が見えますよね。道はまだまだ続きますよ。（裏面に）



【私が今号で一番お伝えしたいこと】

ここで、交差点から信号を渡る前に、確認したいこと。勝海舟さんが、この道を通ったことは触れました。他には、どんな歴史上の人物がこの道を…。

勝海舟、福沢諭吉、遠山金四郎、大隈重信
吉田松陰、シーボルト、伊能忠敬、副嶋種臣
太田南畝、象 etc

我が明峰中の立つ場所は、これほどの偉人たちが、交易のため、測量のため、学問のため、任務のために歩いていかれた場所なのです。明峰で学ぶ子供たちに、そのことを誇りに思ってもらいたい。

さてさて、道の続きを。Eの交差点（「明峰中学校前」と信号機に記されていますよ。）を渡り切れれば、御存じのとおり破籠井地区。写真F→写真Gの順で、長崎街道は続いていき、最終的に今号の冒頭部分に見たAの写真の位置まで延びていきます。



右の地図でも御確認ください。
B地点から出発して、C→D→
E→F→G→Aに至るまで、全長
1.9kmです!! 決して長い距離
ではありません。

是非、親子で歩いてほしいな
とそう思っています。途中途中で
必ず、「旧長崎街道」の石柱があり
ますので、確認してくださいね。
誇るべき明峰校区の財産です。

最後に、次号第16号の予告を…。

写真Aの入口から登る山道は、その山頂部まで
約1.5kmあるのですが、冒頭お伝えした通り、細く
てなかなかな急こう配です。

私、「校長としての夏休み自由研究」として、山
頂付近まで登ってみました(笑)。次号は、その山頂
付近の様子からお伝えすることとします。

（また、マニアックな自分勝手な学校だよりばかり
出してとお叱りを受けそうですが、お許しを…。）

